# ‘TORAY’ SPUCK®

## SPシリーズ

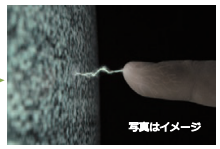
東レ・アムテックス株式会社

# SPシリーズ

## 今までと変わらない風合いと品質

### 特 徴

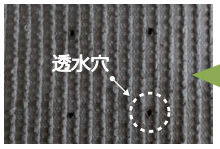
**帯電防止**
基準:3kV以下(23℃ 25%RH)
ストロール(JIS法)で帯電性を測定。




**防炎性能付与**
自社試験後、(財)日本防炎協会にて
試験を行い、防炎番号を取得します。



**透水穴**
透水穴を設け、水の透過性をアップ、
「定水位透水試験」で、評価をします。



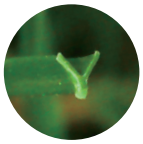

**特殊コーティング加工**
耐候性・耐水性に優れた
ウレタンバッキング材を使用。

## スパックターフ® SP1 自然な柔らかい風合いの人工芝

| 品 名 | 標準価格(税抜き) | 表層主素材 | バッキング | 標準パイル長 | 標準サイズ | 防炎認定番号 | 制電性 | 透水性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スパックターフ® SP1 | 6,900 円/m² | ポリエチレン/直毛糸<br>ポリプロピレン/捲縮糸 | ポリウレタン<br>コーティング | 30mm | 巾2.0m<br>×長さ15m・10m・5m | E2260201 | ○ | ○ |

## スパックターフ® SP2 毛倒れしにくいV字断面の糸を使用した人工芝

V字断面糸

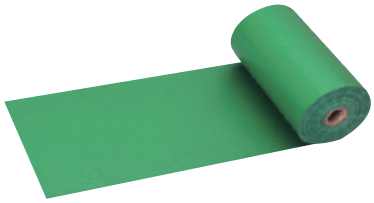


| 品 名 | 標準価格(税抜き) | 表層主素材 | バッキング | 標準パイル長 | 標準サイズ | 防炎認定番号 | 制電性 | 透水性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スパックターフ® SP2 | 6,900 円/m² | ポリエチレン/直毛糸<br>ポリプロピレン/捲縮糸 | ポリウレタン<br>コーティング | 30mm | 巾2.0m<br>×長さ15m・10m・5m | E2260202 | ○ | ○ |

## 副資材




| 接着剤 | |
|---|---|
| 品名 | ルビロン101 |
| 規格 | 15Kg |
| 備考 | ウレタン系 |

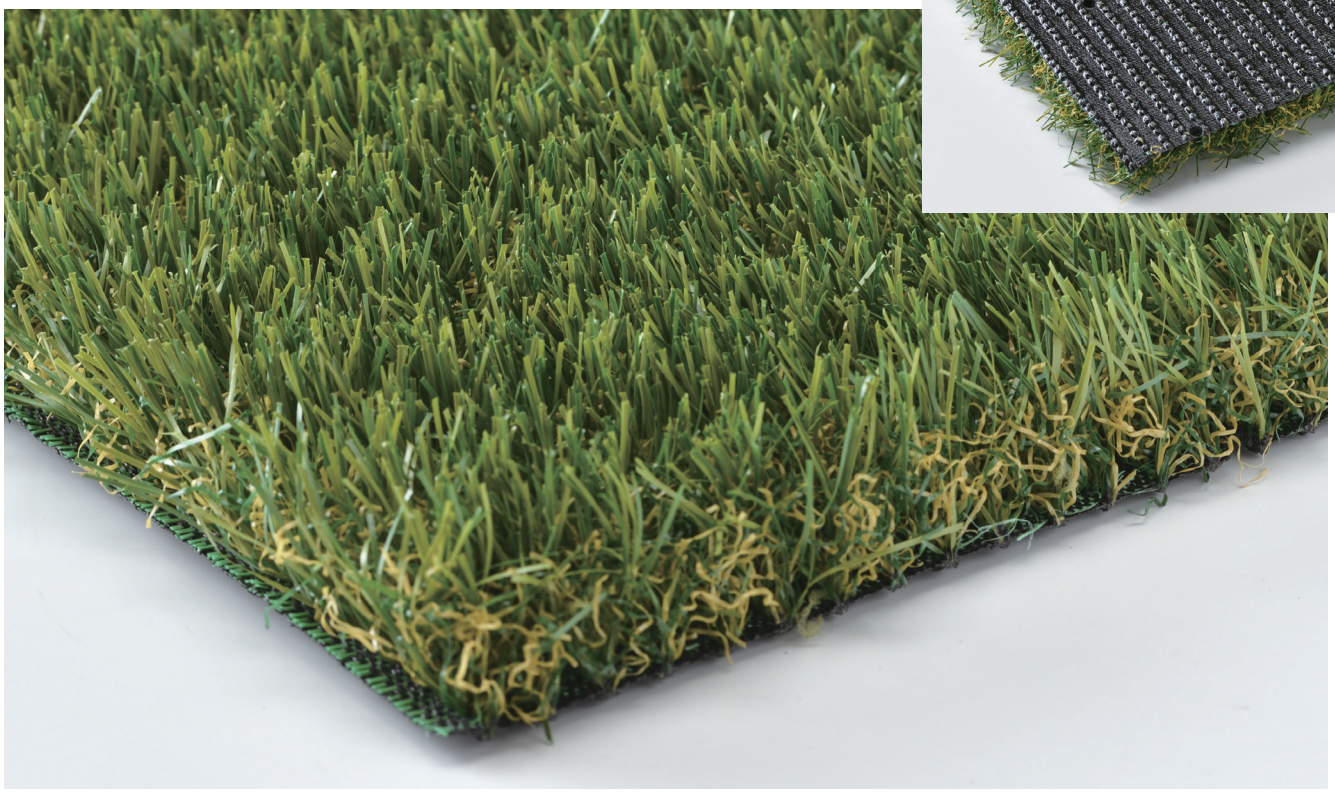


| ジョイントテープ | |
|---|---|
| 品名 | ジョイントテープ |
| 規格 | 25cm×50m |
| 備考 | PVCコーティング |

※別途お見積りになります。

# スパックターフ® SP1





# スパックターフ® SP2





# 正しい施工方法で、いつまでも快適な空間を。

## 人工芝の施工について

### 1 全面接着による施工について

※人工芝の施工は全面接着を基準とします。

#### 【1】施工前の準備

①施工現場の確認
　○形状・面積の確認
　○下地の確認
　　種類のチェック・乾燥状態のチェック・目地の位置のチェック
　　勾配のチェック・不陸(凸凹)のチェック
②割付け　③施工用具の準備

#### 【2】施工に必要な材料と道具

〔1〕材料
① ウレタン系接着剤　②ふきとり・希釈用溶剤
③専用ジョイントテープ　④不陸修正用樹脂モルタル

〔2〕道具
①巻尺　②直線定規(鋼尺)　③ カッターナイフ　④はさみ
⑤チョークラインリール　⑥ケレン棒　⑦クシ目ゴテ
⑧転圧ローラー (45kg程度)　⑨掃除道具

#### 【3】施工上のポイント

①施工前に下地の平滑性を十分にチェックして下さい。下地の表面状態によって接着剤の塗布量は大きく変わります。(下表参照)

〈人工芝適性使用接着剤一覧表〉

| 商品 | メーカー | 品名 | 作業性 | | | | 塗布量のめやす(g/m²) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | オープンタイム(分) | | | 引火性 | 芝の裏面が平らなもの | | 芝の裏面が凸凹なもの | |
| | | | 20℃ | (夏期)30℃以上 | (冬期)10℃以上 | | 平らな下地 | 凸凹な下地 | 平らな下地 | 凸凹な下地 |
| SPシリーズ | トーヨーポリマー(株)<br>ノーテープ工業(株) | ルビロン101<br>ディングリップ7505 | 20 | 10 | 30 | あり | − | − | 800 | 1000 |

・トーヨーポリマー株式会社
　TEL(06)6397-8001／FAX(06)6397-8316
・ノーテープ工業株式会社
　TEL(072)992-0781／FAX(072)992-0543
※接着剤メーカーへの発注時には、クシ目ゴテは必ず人工芝用を指定して下さい。

②下地に不陸(凸凹)があると水がたまり、人工芝損傷の原因になる可能性がありますので、大きな不陸は樹脂モルタル等で補修して下さい。
③下地を丁寧に補修した後、接着剤を塗布して下さい。ゴミやホコリ、土砂などが残っていると接着不良の原因になります。
④下地をよく乾燥させてから接着剤を塗布して下さい。下地に水分が残っていると、接着不良や人工芝の膨れの原因になります。
⑤下地が新しいコンクリートの場合、施工までに2週間程度の養生期間を取って下さい。養生の段階で発生するアルカリ性物質が接着不良の原因となります。油分が接着不良の原因となるためアスコンの場合も、2週間程度養生期間が必要です。
⑥人工芝の仮敷きのときに巻きグセやしわを充分にのばすようにして下さい。
⑦輸送中巻きのテンションが緩み、型が付きやすくなる場合があります。その場合は、逆巻きもしくはドライヤー等で温めてクセを直すようにして下さい。
⑧人工芝は立毛物のため、パイル糸の寝グセの影響で白っぽく見えることがあります。その場合は、ドライヤー等で蒸気を与えブラッシングすることでクセをとって下さい。
⑨ステンレス、FRP、サビ止め仕様の鉄には接着出来ませんので、ご注意下さい。
⑩屋外用両面接着テープで袋貼りをした場合、素材の特性により収縮しますのでご注意下さい。
⑪転圧はゆっくりと何度も行うようにして下さい。
⑫2～3時間後にもう1度同じように転圧を行って下さい。

#### 【4】施工手順

①下地の清掃
　・ゴミ、ホコリなどを完全に除去して下さい。
②割付け(スミ出し)
　・ロスが少なくなるように割付けを行って下さい。
③人工芝の仮敷き
　・人工芝の巻きぐせやしわを充分にのばして下さい。
　・芝目の方向をそろえて下さい。
　・端末は出隅、入隅にあわせて切り込みを入れ、施工場所の形状に合わせて下さい。
④ジョイントテープの貼り込み
　・ジョイント部の人工芝を左右に開き、専用ジョイントテープを下地に貼り込んで下さい。
⑤接着剤の塗布
　・所定の接着剤はクシ目ゴテを用いて所定量をていねいに塗布して下さい。
　・ジョイントテープの上は特に塗布ムラのないように均一に塗布して下さい。
　・夏期は接着剤の硬化が早いのでご注意下さい。
　・接着剤を人工芝に付着させないようご注意下さい。
⑥人工芝の貼り込み
　・接着剤塗布後、オープンタイム(夏期は短くなります)以内に、ていねいに貼り込んで下さい。(別表参照)
　・ジョイント部は特に隙間の生じないように、ていねいに貼り込んで下さい。
⑦転圧
　・ゆっくりと何度も行って下さい。
　・転圧しても人工芝のしわやふくれがおさまらない場合は、その部分に砂袋などの重しをかけて下さい。
⑧人工芝の端末部の仕上げ
　・カット作業をていねいに行って下さい。
⑨点検・補修
　・ふくれ、ジョイント部の接着不良などがないか、充分にチェックして下さい。
⑩清掃
⑪養生
　・施工後、ウレタン系接着剤を使用した場合で完全硬化に冬期2日、夏期 1日の養生期間が必要です。

### 2 土の上の施工方法について

※戸建の庭等の小スペース(目安:100㎡以下)での施工が前提となります。

#### 【1】施工前の準備

①施工現場の確認
　○形状・面積の確認
　○下地の確認
　　種類のチェック・乾燥状態のチェック・目地の位置のチェック
　　勾配のチェック・不陸(凸凹)のチェック
②割付け　③施工用具の準備

#### 【2】施工に必要な材料と道具

〔1〕材料
① ウレタン系接着剤　②ふきとり・希釈用溶剤
③専用ジョイントテープ　④専用ステイプル
⑤市販の土壌改良剤(必要に応じて)
⑥市販の除草シート(必要に応じて)

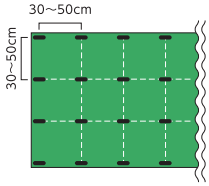
〔2〕道具
①巻尺　②直線定規(鋼尺)　③ カッターナイフ　④はさみ
⑤チョークラインリール　⑥ハンマー　⑦クシ目ゴテ
⑧転圧ローラー (45kg程度)　⑨掃除道具

#### 【3】施工上のポイント

①人工芝は、路盤の影響を大きく受けるため路盤調整が重要となります。路盤の材質・状態により路盤調整の方法は異なりますので、状況に応じた路盤処理を施して下さい。
②施工前に下地の平滑性を充分にチェックして下さい。不陸がなく、平坦で締りのある土壌が好ましく、水はけにも注意が必要となりますので、現場の状況に応じて路盤調整を施して下さい。
③敷設場所のゴミ、雑草などを丁寧に除去して下さい。特に鋭利な石ころが人工芝を突き破る事もありますので除去して下さい。
④構造物や雨水桝などの高さや水勾配を考慮して下さい。
⑤高温になる場所や火気の近くには設置しないで下さい。
⑥水はけの悪い場所には設置しないで下さい。
⑦風が強い場所などには設置しないで下さい。
⑧雑草の生える事がありますので、防草シートを下地に敷設することをおすすめします。
⑨人工芝は設置後に気温・湿度により伸縮する場合があります。
1【3】⑥⑦⑧参照願います。

#### 【4】施工手順

①人工芝の仮敷き・割付
　・事前に作成した割り付け図に基づき、人工芝を仮敷きして下さい(過不足を無くす為)。
　・人工芝両端の谷部の一目分を直線にカットし、除去後、繋ぎ目の隙間が約5mm以内に収まる様に仮敷きして下さい。
②ジョイントテープ敷設
　・人工芝繋ぎ目の中央にジョイントテープの中心が配置される様に下地面にジョイントテープを敷き込みして下さい。
　・ジョイントテープは、動かない様にU字釘で固定して下さい。
　・人工芝の両端部を約50cm幅程度観音開きし、敷込み済みのジョイントテープ上に指定の接着剤を専用くし目ゴテを用いて均一に塗布して下さい。
③ピン固定
　・下地の状況に応じてU字釘を約30～50cm間隔(6～10本/m²)に人工芝のパイルをかまない様に丁寧に打ち込み固定して下さい。
　・パイルの縫い目に沿って使用します。芝目方向に進めて下さい。
　※施工注意:U字ピン等で固定した場合、伸縮によるシワが発生することもあります。




④点検・補修
　・人工芝と下地の間にシワや浮きがある場合は十分に伸ばして下さい。
　・接着剤が剥がれやめくれやすい箇所がないか確認して下さい。
⑤清掃
⑥養生
　・施工後、ウレタン系接着剤を使用した場合で完全硬化に冬期2日、夏期 1日の養生期間が必要です。

### 3 人工芝を施工する場合の注意点

⚠露出防水層に施工する場合は注意して下さい。

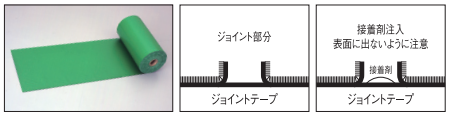
①露出防水層に直接施工する場合は改修のことも考え、施主に相談下さい。
②露出防水層の素材によって接着出来ない場合があります。
③接着剤によって露出防水層の損傷を促進する場合があります。
④使用環境・状況により人工芝の劣化を促進する場合がありますのでご注意下さい。

⚠アスファルト下地の場合はスプレーガンの吹き付け、ローラー刷毛による接着施工をお奨めします。

⚠ジョイント部分は、必ず専用ジョイントテープを使用して下さい。

①専用ジョイントテープを使用しないと、人工芝の縮みによりジョイント部分が空き、ジョイント部分の人工芝を傷めるだけでなく、基盤の亀裂をおこす恐れがあります。ジョイント部保護の為にも必ず、専用ジョイントテープを使用して下さい。専用ジョイントテープは非粘着体ですから左表の指定の接着剤を併用下さい。

専用ジョイントテープ(規格:巾25cm×長さ50m/巻)




⚠接着不良によるふくらみを防止する為にも左記1【3】施工上のポイントをよく熟読して施工して下さい。

### 使用上の注意点

①雨・雪等で製品表面が濡れている場合、ゴミ・埃等で製品表面が汚れている場合、又、冬期に製品表面が凍結している場合、滑りやすくなりますので、歩行には特に注意して下さい。
②夏期の高温下では、製品表面が熱くなり、火傷する恐れがあります。又、直接歩行するとストッキング等が破れる場合がありますので、履物を着用して下さい。
③机や椅子をご使用になる場合は、机や椅子の脚に集中荷重がかからないように緩衝材を設けて下さい。
④燃えたり、変形しますので製品上で火を燃やしたり、加熱したりしないで下さい。

### ⚠注意

- ポリエチレン素材の製品は、太陽光の反遮熱の影響を受けやすい場所(窓際・壁際)でのご使用は避けて下さい。
- 人工芝はカーペットと同じく繊維製品ですので、歩行等による外力・紫外線・水分等の影響により早く劣化する場合もありますので、予めご了承下さい。
- ジョイント部の端部処理は丁寧に仕上げて下さい。不十分だと鳥類等による破損が懸念されますので、ご注意下さい。
- 弊社製品を廃棄する場合は必ず市町村の条例に従って下さい。

東レ・アムテックス株式会社　大阪府富田林市西板持町8-1-65
TEL:(0721)34-8371　FAX:(0721)34-8370